

No. 67  
令和4年1月1日



# シルバー ふくちやま



## 木村流大正琴シルバー同好会

演奏するのが大好きな集まりで、現在会員数は6名です。  
毎月第2、4火曜日に練習しています。

公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

■福知山市昭和新町162番地 ■TEL.0773-23-7677 ■FAX.0773-23-7678  
■Email : dokkoise@sjc.ne.jp ■URL : <https://webc.sjc.ne.jp/dokkoise/>

三和連絡所

■福知山市三和町千束530番地 ■TEL.0773-59-2170 ■FAX.0773-59-2171

会員数 657名

男 430名  
女 227名

(令和3年12月1日現在)

# 年頭のごあいさつ



理事長  
中里 嘉久

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様をはじめご家族、関係の皆様方におかれましては、令和四年の清々しい新春を、健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素はシルバー人材センターの事業運営につきまして、格別のご支援とご指導を賜り誠にありがとうございます。心より御礼と感謝を申し上げます。

昨年は当センターの会員による部落差別発言の事象が発生し、当センターの人権意識の希薄さが露呈し対応の遅延等、皆様方に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことに

深くお詫び申し上げます。

これを契機として当センターが大きく生まれ変わるきっかけを頂いた事と、会員一人一人が長年培った人生経験を活かし、人にやさしく、人を大切に出来る毎日に変わらねばなりません。このコロナ禍の中、

私達のすべてに心と意識の改革が求められています。高齢者であつても地域社会の担い手としてシルバー人材センターの役割も大きく求められています。シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」のもとセンターが再評価されうる組織に生まれ変わらせたく思います。

この一年も大変厳しいものと思われませんが、会員・役員・職員が一丸となって乗り越えていきましよう。重ねてシルバー人材センターの未来のために、

## 公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

ご尽力いただきたく願っております。

結びにあたり、会員の皆様、ご家族の方にとりまして、健康で幸多き一年でありますことを心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



会員互助会会長  
中 保穂

新年あけましておめでとうございませう。

会員互助会の皆様には、令和4年の新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃は、会員互助会の活動につきまして、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、令和2年、3年と新型コ

ロナウイルスにより、互助会会員の皆様が楽しみの行事も出来ない状況が続く、申し訳なく思います。

活動が一日も早く出来、互助会の目的である会員の親睦、地域社会への貢献が出来るよう、会員の皆様のご協力をよろしく願っています。

結びにあたり、会員の皆様のご健康とご多幸、ご活躍を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。







福知山市長  
大橋 一夫

あけましておめでとうござい  
ます。

福知山市シルバー人材セン  
ターの皆様並びにご家族の皆様  
には、清々しく新春をお迎えのこ  
とと心からお喜び申し上げます。

平素は、市政推進に格別のご理  
解とご協力をいただき、厚くお礼  
申し上げます。また、シルバー人  
材センターの皆様には、高齢者へ  
の就業機会の提供を通じて生き  
生きとした社会の実現にご尽力  
いただき、市民の暮らしを支えて  
いただいておりますことに重ね  
て感謝申し上げます。

さて、昨年はWithコロナが  
より浸透し、ワクチンの接種も進  
む中で、新しい生活様式が私たち  
の日常に定着してまいりました。

相次ぐ変異株の出現など依然  
として予断を許さない状況では  
ありますが、感染防止に対する市  
民の皆様のご協力のおかげで地

域の社会・経済活動も徐々に再開  
されつつあります。

現在、福知山市は市民の約30%  
が65歳以上の高齢者であり、全国  
での高齢化率も年々増加の一途  
をたどっている中で、雇用制度の  
変化などにより働き方も多様化  
している状況です。

このような中で、高齢者の皆様  
が健康で生きがいのある生活を  
実現するために、それぞれの希望  
に応じて就業することができ  
るセンターの役割が益々重要にな  
ると考えております。本市といた  
しましては皆様と支え合い、高齢  
者の方々の生きがいと地域社会  
の発展のために、共に尽力してま  
いる所存です。

そして今後も、人権を尊重し会  
員の皆様方が気持ちよく働くこと  
ができる就業機会の確保に積極的  
に取り組んでいただき、センター  
事業が益々充実・活性化されます  
ことを大いに期待しております。

結びにあたり、福知山市シル  
バー人材センターの益々のご発  
展と、会員の皆様のご多幸を心よ  
り祈念いたしました。新年のご挨拶  
とさせていただきます。

## 市長要望

令和3年11月30日、理事長、副理事長、事務局長が、大橋一夫市長  
のもとを訪れ、次年度の運営支援並びに業務発注についてを要  
望しました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に  
配慮して少人数での要望となりましたが、会員数の減少と会員  
の高齢化といったセンターの現状を説明するとともに、シル  
バー人材センターが果たす役割の意義と重要性を説明し、要望  
書を提出しました。



# シルバー人材センターと 就業マナー

シルバー人材センターの会員は、地域社会に密着した多種多様な仕事に就業しています。その中で発注者である個人や事業所、そこ関わる多くの他者と相互に関係しあっています。こうした他者との円滑な関係を築くことがシルバー人材センターの信頼を確保することにつながります。そのためには規則やきまりであるルールを守るだけでなく、マナーを心がけることが肝要です。

就業マナーの基本は、「相手への思いやり」です。

- ①「人に迷惑をかけない」
- ②「人に敬意をはらう」
- ③「人に好感を与える」

そして、就業中のマナーの基本は、

- ① 身だしなみ
- ② 言葉遣い
- ③ 表情
- ④ 態度動作
- ⑤ あいさつ
- ⑥ 健康管理

といわれています。

就業が続くと「慣れ」が生じ公私混同や人間関係に円滑さを欠く事態も発生して、シルバー人材センターの会員として信頼を損ない、最終的に就業がなくなることもあります。

あらためて自ら就業態度を振り返り、就業のルールと就業のマナーを守ったシルバー人材センターの会員としての就業をしましょう。

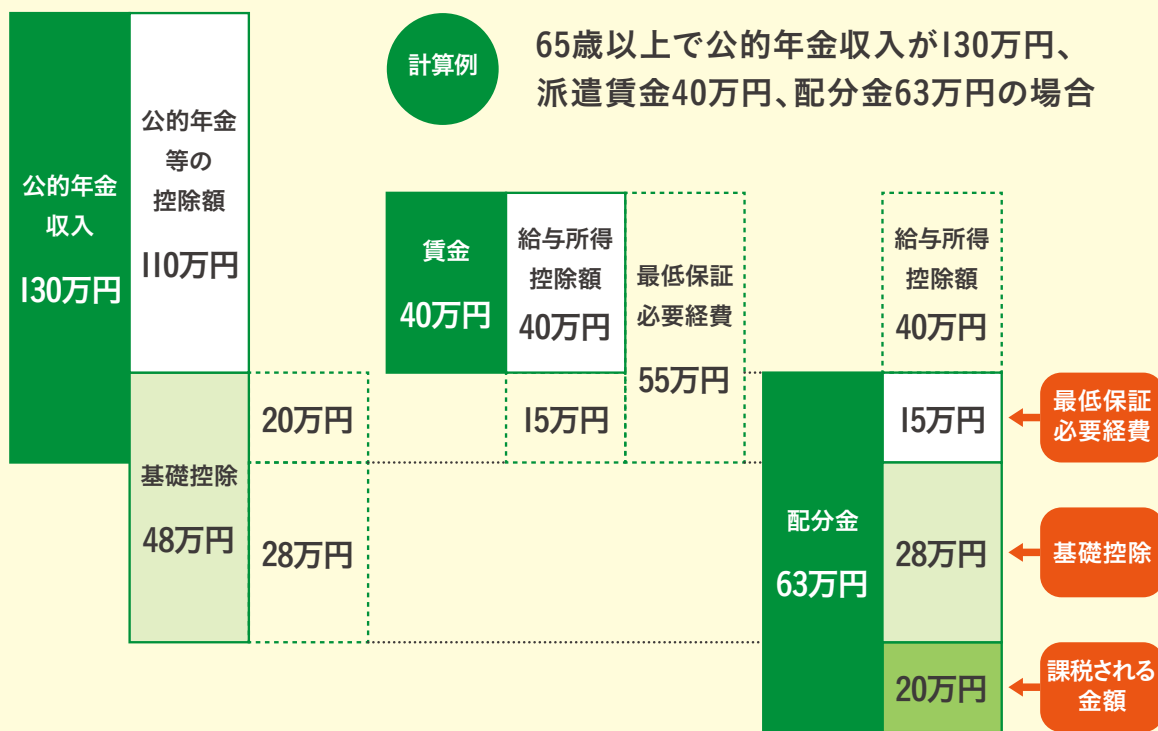
# 会員さんが受け取った配分金に対する 所得税法の取扱について

令和  
3年分

会員さんが受け取る配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、センター等から受け取った配分金収入は、原則、翌年3月15日までに所得税の確定申告をする必要があります。ただし、配分金収入に対しては、55万円を上限として最低保証必要経費が認められております。

なお、配分金収入と給与所得がある場合は、給与所得控除(最低55万円。ただし、収入金額を限度となります。)が受けられますが、その場合、配分金に係る上記の最低保証必要経費(55万円)は55万円から給与所得控除を控除した残額が最低保証必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。



**納税額**  $20万円 \times 5\% \times 102.1\% = 10,200円(100円未満切り捨て)$

※令和3年分の配分金支払証明書は、令和4年1月中に会員の皆様に送付します。



## シルバー人材センター人権研修

令和3年11月26日(金)午後2時からハピネスふくちやま市民ホールにおいて、京都府と京都府シルバー人材センター共催の「シルバー人材センター人権研修」が開催され、シルバー人材センターの会員、職員約130人が参加しました。

当日は、「今日の人権問題と地域社会の役割」をテーマにして奈良大学文学部教授の井岡康時さんに講演をしていただきました。

講演の中で、「近年の歴史研究によって明らかになってきた歴史的認識の変化により、部落差別は支配者がつくったとか差別をさせられたという問題ではなく、我々の先祖が営々と築いてきた生活文化の中でつくられたというのが今日の結論であり、我々の中に問題があると捉えるべきだ。本気で差別をなくし人権尊重の世の中をつくらうと思うのだったら、我々の生活文化をどう変えていくかにつながっている。生活文化の部分はどう変えるかは自分自身の力によるしかない。地域のいろいろな団体や組織が地域の中でいろいろ活動しながら人権尊重の世の中をつくらっていくことが基本にならなければならない、そういうことを自覚して今後も活躍いただきたい」と呼びかけられました。



### 一人ひとりの問題として考えましょう (広報ふくちやま人権特集号から)

私たちの暮らしている社会には、部落差別をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人、性的少数者(LGBTQ)など、様々な人権問題があります。「私には関係ない」などと無関心にならず、自分ごととして人権問題をとらえましょう。差別を受ける人の痛みを知ろうとし、解決に向けて自分にできることは何か考え、みんなで話し合い行動しましょう。



## 人生100年フェア シルバージョブイベント

### 「お金と健康と仕事」

#### ～ 楽しく賢く人生を過ごすためのセミナー ～

シルバー人材センター事業普及啓発推進月間の事業の一環として、令和3年10月29日(金)午後1時30分から、ハピネスふくちやま4階ホール(内記3丁目)で60歳以上の市民を対象に「人生100年フェア シルバージョブイベント」を開催しました。

このイベントは、福知山市シルバー人材センター、福知山市、北京都ジョブパーク、京都ジョブパークの共催で、シルバー和太鼓「翔」による和太鼓演奏で始まり、プランニングハーモニー主宰塩路けい子氏によるセミナー「人生100年時代をどう生きていくのか?—食と健康。生きがいと仕事について—」

第2部は、「学び」として「あなたにとっての人権って?」と題し、北京都ジョブパークキャリアカウンセラー 永野達也氏、福知山市人権推進室 芦田直也次長、福知山市シルバー人材センター 山中明彦次長、そしてご来場の皆様も一緒に、話し合いをしていただきました。

初めての試みではありましたが、多くの皆様に参加いただき、盛り上がるの内に終わることができました。

# シルバーショップの運営

シルバーショップは、開設からもうすぐ10年になります。会員の自主運営で32名の会員とセンターからの応援で運営しています。また、今はコロナ対策を行いながら開催しています。

ショップ前日には、役員でテントを立てます。ショップ当日は、朝7時より会員の皆さんが、新鮮な野菜、お花、手作りの品などを持ち込んでこられます。役員は手分けして売りやすいように店に並べます。

商品に値札をつけ、8時になりますとお客さんが来られて販売を開始します。こうして一連の流れができます。会計は大忙し。商品が売切れ次第、またお客さんが無くなればショップを終了します。

ショップは通常毎月第4木曜日に開催しています。一度ショップにご来店いただき、出せる商品があれば出していただき、買いたい商品があれば買っていただければ嬉しいです。楽しいですよ。生産者も部員さんも募集中です。ぜひ声をおかけください。

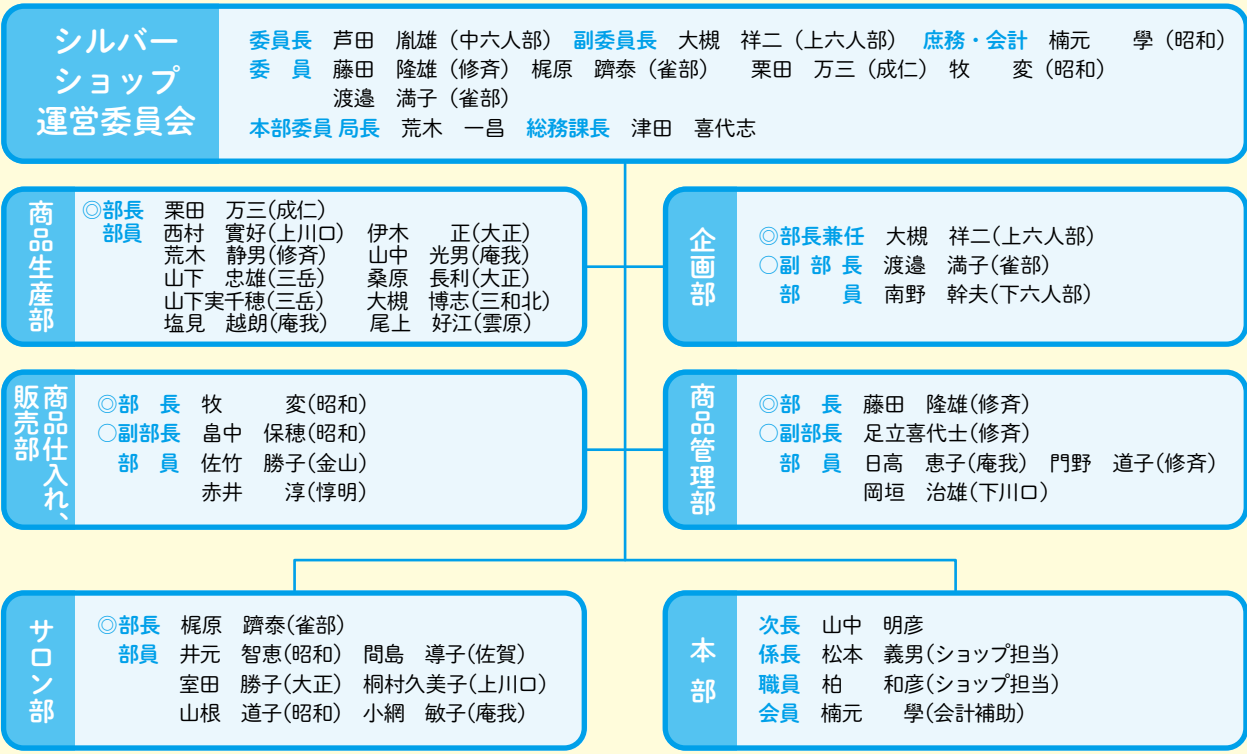


ショップ販売風景

- 芦田胤雄委員長** } シルバーショップへ一度立ち寄ってください。新しい出会いが待っています。
- 大槻祥二副委員長 (企画部兼任)** } 出品される品の旬や必要な季節等によりショップの回数や品揃えに工夫を凝しています。
- 管理部 藤田隆雄部長** } 来年は10周年！市民、会員のふれあい、生きがいの場。ステップアップしよう。
- 生産部 栗田万三部長** } 皆さん。毎月1回開催しているシルバーショップをご存じでしょうか。ぜひ一度立ち寄ってください。
- サロン部 梶原躋泰部長** } 新型コロナ発生、今後第6波が予想されます。サロンは今しばらく休みます。
- 仕入れ、販売部 牧変部長** } シルバーショップでは、ボランティアですが部員を募っています。あなたもどうですか。

## シルバーショップ組織図(令和3年度)

改正:令和3年4月1日



# 令和3年度 会員互助会親睦 グラウンドゴルフ大会開催

令和3年11月13日(土)午後1時から大呂グラウンドゴルフ場(大呂)において、会員互助会親睦グラウンドゴルフ大会が、会員、職員 64人が参加して開催されました。

コロナ禍で会員互助会の事業が中止になる中、屋外で三密を避けての開催となりました。

当日は、スタート前から絶好のゴルフ日和で、参加者は久しぶりの屋外でのプレーを楽しみました。



- 👑 **優勝** 岡井喜好 会員
- 👑 **第二位** 葛西豊満 会員
- 👑 **第三位** 阪梨範明 会員



## 第14回会員互助会 グラウンドゴルフ大会に参加して



優勝者  
岡井 喜好 会員

コロナ禍でいろいろな行事が中止になりましたが、「会員互助会親睦グラウンドゴルフ大会」は開催されましたので参加させていただきました。

私は、シルバーのグラウンドゴルフ同好会「球友会」に所属していますが、互助会の大会での優勝は初めてです。

当日は、良い天候にも恵まれた中で、最高の結果で終わり、大変幸運でした。

これからも趣味、健康増進のためグラウンドゴルフを続けていきたいと思います。

事務局・互助会の役員スタッフの皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。



## こも巻き

10月8日、本格的な秋の訪れを告げる「寒露」。

福知山市猪崎の三段池公園内で、秋の風物詩になっている「こも巻き」(福知山市 都市緑化協会主催)が行われました。

「寒露」とはいいながら朝から日が照り付け、汗ばむ陽気の中で、会員5名が2人1組になり、約100本の松にわらで編まれた「こも」を巻きました。



## 年末恒例 お正月用 「しめ飾り」づくり

今年も10月2日の稲刈り、ビニールハウスでの乾燥から始まり、会員からの申し込み分のほか、神社からの特注品など、シルバー特製の「しめ飾り」2,000本余りを約20名で仕上げました。

「しめ飾り製作委員会」ができて14年。日本古来の技術と伝統を伝承するためにも、シルバーならではの事業として続けてまいります。



## 大正琴同好会

西村 壽彦 会員

大正琴は、左手で弦を押さえ、右手で弦を弾きます。音を聞き、両手を動かすため脳の活性化や認知症の防止に効果があるように思います。

練習成果の発表の場として「シルバーのつどい」で皆様の前で演奏もありました。福祉施設や地域老人会での演奏活動もありました。

今はコロナの関係で寂しいですが、健康のため、老化防止のためと思い、皆和気あいあい、楽しく指を動かしています。

一緒に思い出づくりの仲間が増えると嬉しいです。皆様の入会をお待ちしています。



## 手芸同好会

[代表] 門野 道子 会員

コロナも少しおさまり、休んでいた手芸同好会も再開しました。新しい会員も増え、作品作りを楽しんでおります。

毎月第2火曜日の午後福知山市シルバー人材センター2階で活動しています。

興味のある方をお待ちしています。



# の 声

## シルバーショップ

成仁地区班 栗田万三

「いらっしゃいませ。いらっしゃいませ。毎度シルバーショップをご利用いただきましてありがとうございます」

威勢の良い赤井さんのかけ声とともに、今日も午前8時からシルバーショップが始まりました。

コロナ禍でマスク、消毒、密を避けながら…でも、最近の客数は、季節的な要因もありますが、以前に比べ少なく感じられます。

私がショップに野菜を出し始めて早5年経過しました。当初、活気に満ち出品者も多く、当然出品数も豊富で、並べる場所もないほどでした。

一会員として、少しでも多くの野菜を出品したいと思うのですが、月一回の開催のため、その日に合わせての野菜の栽培は、かなり難しい。ちょうど良い食べごろが合わないからです。

その対策として、種まきの時期を少しずらして二段階方式とし、少しでも良い品を出品しようと努めました。それでも多くの野菜の出品は難しいのが現状です。

まったく経験のない私が、野菜作りを始めたきっかけは、新鮮な野菜を食べたいとの思いからです。

戸田の農家の方から畑を借りて家庭菜園的に始めました。種まき時期も、肥料の施し方、土の耕し方も、育成過程の管理もわからず、虫に食われ、病気に侵され、店頭と並んでいた素晴らしい野菜には程遠いものでした。

でも今は、牛糞主体の土作りを基本に有機栽培を目指し、「ボカシ肥料」を作り、防虫網は必ず使用し、最低限の薬剤使用に努めているところです。

今では、ほどほどの野菜を作れるまでになり、シルバーショップに出品しているところです。

ショップの生産部のメンバーも5年前とあまり変わることなく、体力、気力も齢とともに低下し、年齢のみが5年加算された感じが否めません。

このような中ではありますが、シルバーショップ運営委員会は、芦田委員長をトップに、毎月三役会及び部長会を開催し、シルバーショップを如何に盛り上げ、発展させていくかを議論しているところであります。

シルバーショップ発展には、生産部の新会員の参加こそが欠かせないと思います。

皆様の参加を熱望しております。

# 会員

## 絶滅危惧種

夜久野地区班 桑原秀幸

シルバーの会員に仲間入りさせて頂いて、今年で6年になります。主に筆耕を担当させて頂いております。

私宛に毎年届く年賀状は、100通余りですが、表書きは、ほとんどパソコン印刷で、自筆の年賀状は数通に過ぎません。裏面も印刷で、差出人の自筆は、一行も無いのが現状です。昔は、宛名書きを見ただけで「ああ、あの人からだ」と差出人の顔が浮かんだのも懐かしい思い出となりました。

私は、年賀状は時間が掛かっても「手書き」という信念で、ずっと継続しています。

やっぱり手書きの年賀状は、受け取っても嬉しいじゃないですか。そうした考えをお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

年賀状、暑中見舞いの毛筆筆耕の依頼が毎年あり、担当させて頂いております。また、卒業式シーズン前には、卒業証書の依頼もあり、楽しみながら筆を運んでおります。

昨年よりコロナの影響で、各種式典等が中止になり、依頼も減ってはおりますが、式辞等の筆耕もお受けしています。

和歌、俳句を趣味として、指導も手掛けている私の友人から、先日出版したばかりの句集が送られてきました。その中の一句。

### 今年また 友より来る 年賀状

### 自筆毛筆、絶滅危惧種

嬉しい反面、なんだか寂しい時代になったものだとの思いも禁じ得ません。

投稿していただいた皆様、ありがとうございました。事務局では、年2回発行の会報誌「シルバーふくちやま」に掲載する写真、原稿を募集しています。題材は自由でどんなことでも結構です。体験談、感想文、随筆、俳句、趣味、雑感などをお気軽に。会員の皆様の投稿をお待ちしています。





新規入会キャンペーン

初年度  
年会費  
無料

{ 入会説明会 }

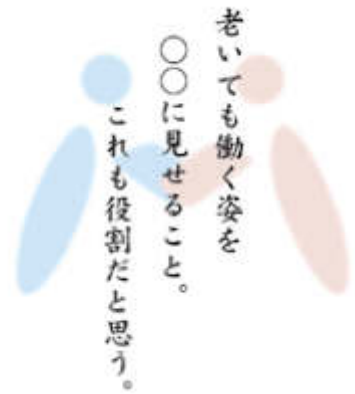
2月1日(火)・2月15日(火)

午後1:30~3:00

公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

〒620-0051 福知山市昭和新町 162 番地

電話0773-23-7677



就業相談日

会員からの就業に関する相談を受けます。就業の問題等どのようなことでも結構です。

相談日 毎月20日 午後2時~  
(2日前までに事前申し込み必要)

相談対応者 適正就業推進委員長  
及び事務局長

相談窓口開設

会員からの相談を受けます。

事務所開所時間のいつでも相談に応じます。気軽に相談してください。(予約不要)

哀悼

謹んで哀悼の意を表し  
ご冥福をお祈り申し上げます。

山本 八重子 様 (悼明地区)

令和3年9月 逝去

大槻 日出雄 様 (大正地区)

令和3年11月 逝去

シルバー行事

お知らせ  
案内板

令和4年  
1月~2月

地区懇談会  
開催予定

会員互助会  
「シルバーのつどい」  
**中止**

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年、一日千秋の思いで待ち続けたワクチン接種が高齢者を中心に始まりました。ようやく明るい兆しが見え始め一安心するものの、予断を許さない状況が今も続いています。

このような世情の中、シルバーにとっては逆風ともいえるべき改正高齢法が昨年4月に施行されました。これによって、これからの数年間は、会員の高齢化が進み、各種の就業に支障をきたすことが懸念されます。

特に、経験に基づく技能を要する屋外の就業については、安全、適正就業の面からも、より厳しい状況になるのではないかと思います。

そこで今、我々が考えなければならないことで一番重要なのは、シルバーの現状を正確に把握し、認識することです。

そのために、会員と職員が未来を見据えたビジョンの策定に、英知を絞り取り組むことが重要です。

「未来輝くシルバーのデザイン」をテーマに、全員がこの難局に果敢に挑戦し、成果のある一年にしていこうではありませんか。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい年になることを祈念します。

編集委員長 安田 信彦

編集委員 門野 道子

大槻 祥二

谷口 幸美

中略 實

加藤 洋行

森 正宣

大橋 初男